

マギル大語学研修の第3回説明会に20人 参加締め切りは、10月31日(土)



来年2月から3月にかけてカナダ・モントリオールのマギル大で実施される恒例のマギル大短期英語研修の説明会が7日昼開かれ、約20人の学生が出席した。研修の参加の締め切りは、月末の10月31日(土)。それまでに常陽銀行の所定の銀行口座に手付金2万円の振り込みが必要となる。



説明会には、人文、教育、理学部などの各学部から出席、パワーポイントを使ったシュミット先生の英語による①マギル大語学研修とは②研修の注意点③カナダの冬ーなどについて説明があった。



これに続いて、この3月にマギル研修に参加した3人の学生から研修の注意点について紹介があった。①下着などの洗濯が、週に1回あるいは、2週間に1回のホストファミリーが少なくなく、事前に準備が必要②寒さが尋常ではなく、特に靴は、重要で、防寒対策を施したブーツなどを用意するーなどアドバイスがあった。



金銭面では、クレジットカードの準備のほかパワーポイントを作成し、発表する機会もあるため手慣れた日本で使っているパソコンを持参するのがベターとの指摘もあった。

また、今回のプログラムからマギル引率のチームに新任の佐々木友美先生が加わるため学生に佐々木先生が自己紹介した。

10月31日(土)が参加の締め切りで、参加希望の学生は、常陽銀行末広町支店(031)の普通預金の口座番号1613079、口座名義「マギル英語集中講座」へ申込金2万円の振り込みが必要。申込金の返却はない。残金は、平成28年1月9日までに振り込む段取りとなっている。



英語研修費用は、50万円、帰国前にナイアガラ・トロントツアー(5万円)が予定され

ており、このツアーに参加する場合は、55万円、英語研修のみ代金は、50万円となる。

次回は、同29日(木)の正午から人文学部C棟の406号室で開催される。(終)